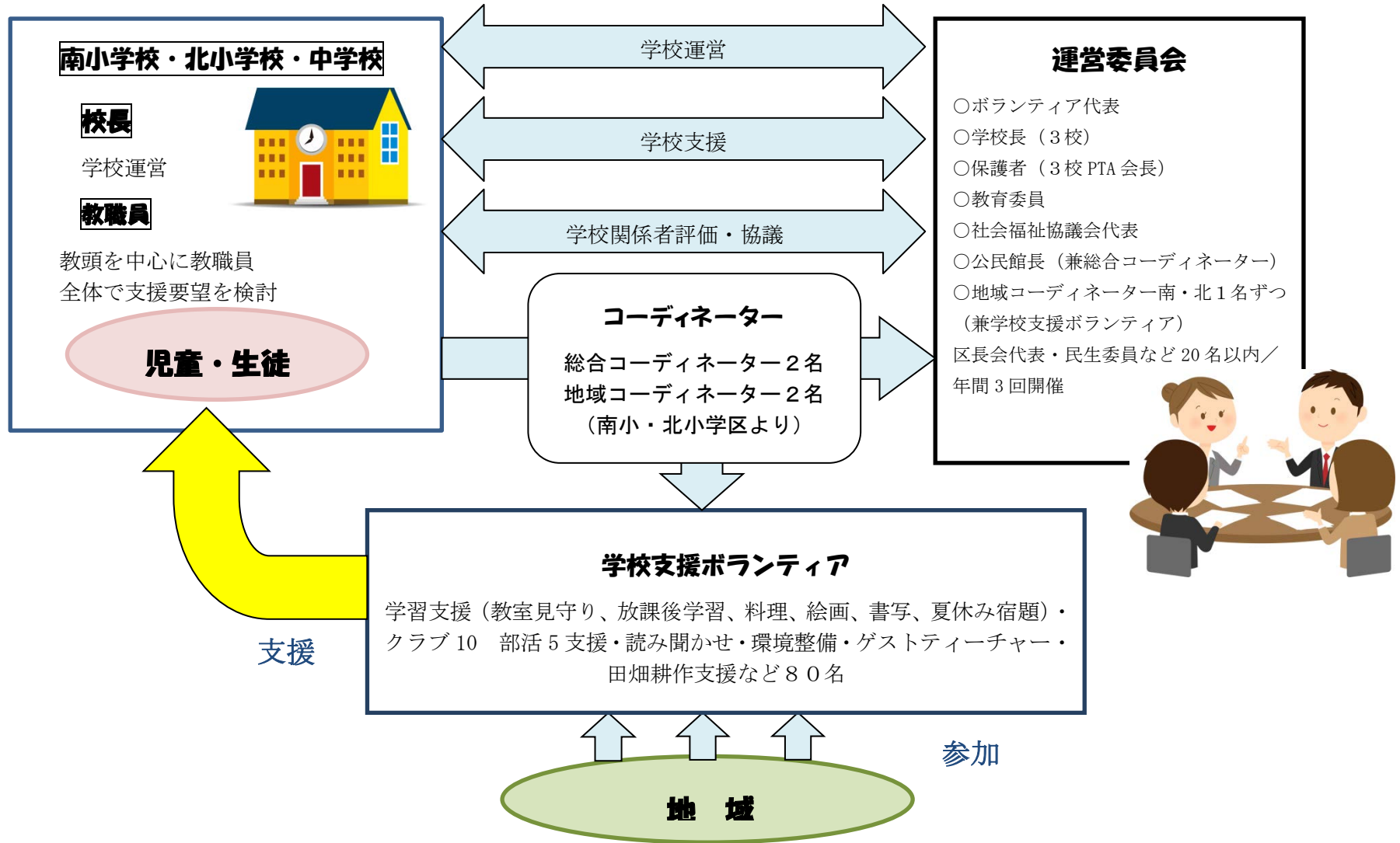


豊丘村コミュニティスクール全体図 ～子ども達の生きる力と地域の教育力の向上～



参加

<<留意していること>>

- 3校一体としてコミュニティスクール、1つの運営委員会設置
- 運営委員会を通じた開かれた学校づくり
- ボランティア保険加入の推奨(社会福祉協議会運営保険)

算数での学習ボランティアの様子

～3年 算数での例～

1. 学習支援ボランティアの活動概要

(1) 名称

「教室見守り」ボランティア

村のコミュニティースクール運営委員会に登録された方々が、毎週火曜日の2時間目に教室に見える

(2) 授業前（打合せ）

学習内容を打合せ、見てもらいたい児童を学級担任から指定する。



2. 主体的積極的な学習スタイルの中での見守りの方々の活動（算数）

番号	場面	児童の活動	学習見守りの方々の活動
	学習の準備 (授業前)	ノート作り 学習目的(課題)・問題・既習事項	・○子どもの様子を見て、特に中心に見る子どもの選定(担任と打合せ)
1	個人追究	自分で問題に取り組む	○子どもに寄り添いながら、問題についての自分の考えがもてるように支援する。
2	で話—共 個し近 人合く追 のうの究 べ・友① あだ すくち —まと	①分からないことを聞く	○子どものグループの活動を見守りながら、場合によっては発言できるように援助する。 ○近くに見える子どもで困っているような子がいたら、援助に入る。(授業の中で担任と打ち合わせる)
		②自分の考えたことを伝える(教える)	
		③友だちの話を聞く	
		④自分の考えとの相違点を話し合う	
		⑤話し合ったことを元に自分の考えをノートにまとめる	
3	し—共 視合板同 化い書追 —と究 可話②	まとまった考えを板書する。 考えがまとまったら板書する。 板書している中で班を越えて質問したり、話し合ったりする。 担当の子が発表順を決める。	
4	表—共 確・考同 認質え追 —問の究 ・発③	考えの発表・質問・意見交換	○担当した子の様子を見る。場合によっては活動の支援をする。
5	まとめ	本時の学習で分かったことをまとめる(ノート・板書)	
6	視題定 化—着 —可問	指定された問題を解く。できた児童の所へ行って○を付けてもらう。	担任と児童の答えに○をつける
7	自己評価	「よくわかった」「だいたいわかった」「ちょっと心配」の項目で自己評価する。	児童の自己評価の様子を見て、ほめる。

3、感想

(1) 児童

- ①問題の答え合わせの時，すぐに行けて，早く答え合わせができる。
- ②先生より優しい感じ。
- ③近くのおばあちゃんなので話しかけやすい。

(2) 教室見守りの方

- ①明るい子どもたちなので一緒にやっていると楽しい。
- ②やりづらい子どももいるが，うまくいった子は休みの日に話しかけてくれてうれしかった。

(3) 職員

- ・担任や専科だけでは指導しきれない実習の手伝いや指導に入っただけで，子ども達の意欲にもつながった。
- ・空き時間が少ない中で他の教室のことに気持ちが向かないこともあるので、日々の支援に入ってくさるのありがたい。
- ・5年生家庭科の手縫い指導に入っただきありがたかった。
- ・熱心に関わってくさる方が多いのでいいと思います。
- ・ありがたい。子ども達にも当たり前だと思わずそのありがたさが伝わるような担任の姿を見せたい。
- ・親身になってやっただき本当にありがたいです。
- ・子どものよさに目をむけて支えてくださったり，教員に伝えてくださったりすることがありがたい。
- ・子どもの育ちを考えると，地域の方に多く関わっていただくことはやはり大切だと感じる。多くの人に見守られていると感じられることは良いと思う。



4、課題

- ・交流給食など，ボランティアの方々と交流する機会をとるなどするとよいのではないか。
- ・学校に外から風が入ること、助けてもらうことは大切だと思う。双方向に意見交換ができていくとよいと思う。(学校から一方的にお願いするだけでなく。)
- ・クラブ・読書・算数などあらゆる場面でサポートしていただき、子ども達が伸び伸びと活動する姿があり，ありがたいです。
- ・「こんなことをお願いしたいのですが…」という願いに対しすぐに応えていただけるとありがたい。
- ・学校と地域が，共に子どもに向き合い育てようとする意識ができる。